

タカラスタンドのショールームへ行ってきました！

タカラスタンドと言えば、高品質のホーロー素材が魅力。お手入れが簡単、汚れや湿気に強く、ニオイも付きにくいのが特徴です。



LEMURE(レミュー)

やきものや大理石などの風合いを「インクジェット印刷技術」で再現。美しさを極めた素材やデザインとなっています。



リフィット

ドラマ「恋です！～ヤンキー君と白杖ガール～」で登場しました！



扉カラーのカラーバリエーションも豊富です。

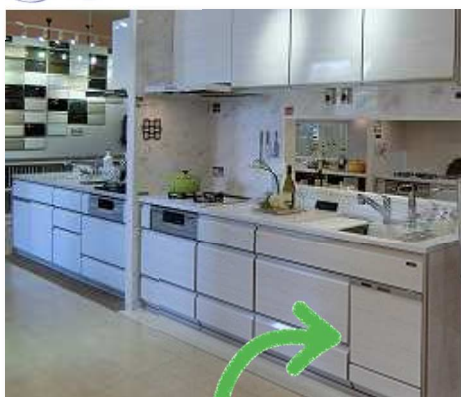


家事らくシンク

粉や卵で汚れてしまう衣付けも、シンクの上なら汚れてもシャワーですぐに流せます。



アイラック
立ったままの高さでサッと引き降ろして使い、中も見えて便利です。



シンク下に食洗機があると、シンクから食器をセットしやすいです。



ホーローは、マグネットが付くので、キッチンの壁一面にマグネット収納ができます。

お客様大感謝祭延期のお知らせ

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、お客様の健康・安全面を考慮し、年内の開催を延期することといたしました。

なお、状況を見て、来春に開催する予定です。詳細は、追ってご案内いたします。

11月号は、いかがでしたでしょうか？日暮れが早くなり、哀愁たやうこの頃が、私は何とも言えず好きです。お鍋、おでんも良い季節になりましたね。体調にお気を付けて、暖かくしてお過ごしください。㊦

アイリフォーム通信

i-reform magazine

2021年 11月

皆さん、お元気ですか、秋も深まって参りました。

11月7日には立冬を迎え、いよいよ衣替えから本格的に冬の支度が始まります。「秋の日はつるべ落とし」と言われますが、日が短くなるのを実感する毎日です。又、プロ野球も全日程を終えて、カープファンには用の無い日本シリーズを残すのみです。カープは、来期も佐々岡監督の続投が決まりましたが、東京オリンピックでは、同一チームから5人も選出される程のリーグトップクラスの戦力をしっかりと生かし、来期は優勝目指して、頑張ってもらいたいものです。

さて、コロナも第5波以降、急速に沈静化してきました。年度内には、新しく飲み薬も承認される見通しで、期待しております。2年間にわたるコロナ感染社会を経験し、これからは、コロナ後の世界がどうなっていくのか考えさせられます。過去には、太平洋戦争という社会の激変がありました。

そう言えば、今月は2つの祝日があります。11月3日文化の日は、昭和23年「自由と平和を愛し、文化をすすめる」日として制定されましたが、戦前は「明治節」もっと前は「天長節」(明治天皇誕生日)でした。同じく11月23日勤労感謝の日は、同年「勤労を尊び、生産を祝い、国民が互いに感謝しあう」日として定められ、これも戦前は「新嘗祭」として宮中で天皇が新穀を神前に供える儀式の日でした。戦争を境に祝日も変わりましたが、社会が大きく変化する時は、古いしがらみや考え方が一気に変化し、新しい未来への調和を作っていく事を感じさせます。大きな節目を前向きに理解し、足元をしっかりさせる事が大切でしょう。

私たちアイリフォームスタッフも、お客様のお役に立つという基本を元に、新しい時代に向け、より一層がんばって参ります。



株式会社アイリフォーム
代表取締役 井本 健一



井本建設株式会社グループ

株式会社 アイリフォーム

☎ 0120-117-145

広島県呉市山手1-1-33 井本ビル3F

◎受付時間/9:00~17:00 ◎定休日:日曜・祝祭日・第2・4土曜日

呉 アイリフォーム

WWW.i-reform.co.jp

いつもご愛読ありがとうございます。皆様からのご意見、ご感想をお待ちしております。😊

マンションフルリノベーション Before After

今回は、築 25 年のマンションにご夫婦でお住いの
T 様邸のマンションフルリノベーションの施工事例をご紹介します。



リビングを広くするため和室を6帖から4.5帖に変更。押入を吊り押入にすることによって、1帖分のスペースを確保して広く感じられます。



こだわりのアクセントクロスで水まわりが素敵な空間になりました



開放的なオープン対面キッチンへ変更しました。



ペット紹介

ほくの名前はちよび。
子年生まれ13歳。
性格は、びびりだけど人懐っこくて、甘えん坊。
たまに階段をのみはずしてしまふ。
水を飲むのが下手くそでたまに鼻にはいつちゃう。そんな所が母さんは好きなんだって！

今回ご紹介するのは、S 様の猫ちゃんです。育児放棄されていた猫を保護されて、今はご夫妻の元に幸せに暮らしています。



最近のお気に入りの場所は、お父さんの膝の上だよー



さんまのぬいぐるみを抱いて ZZZZ

ちよびは、大切な家族の一員です



お勉強を教えているのかな？

目にやさしい照明づくり

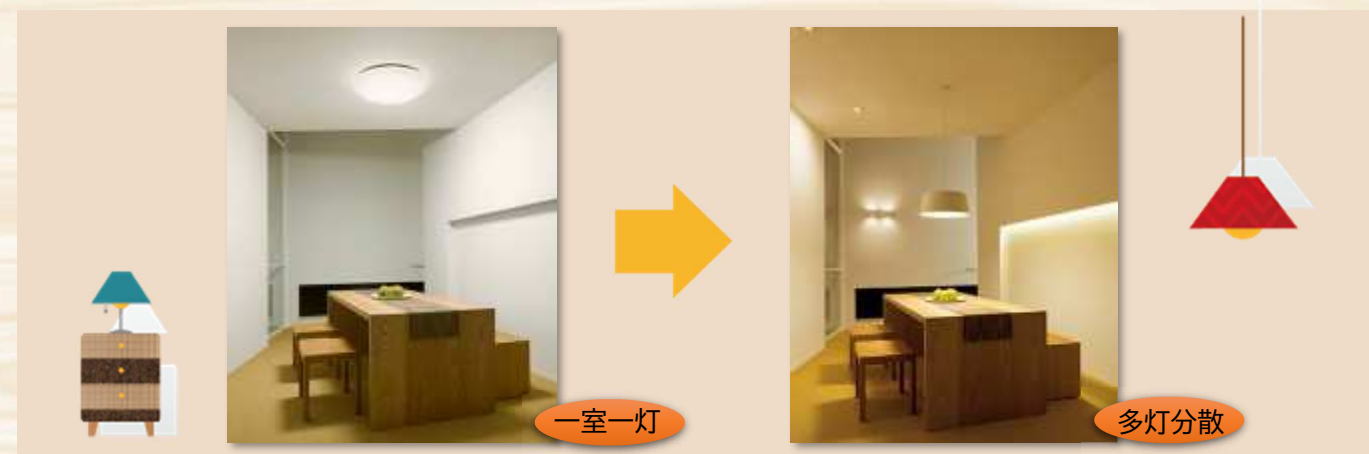
年齢を重ねると明るさを感じにくく、若い頃より部屋が暗いと感じるようになります。60代では、20代と比べて2~3倍の明るさが必要です。しかし、まぶしさには敏感になります。そこで、照度を上げたいけれど、まぶしさが出てはいけないうえには、どのような照明づくりが良いかご紹介していきます。



広い空間では一灯ではなく多灯分散に



心地よい照明をつくるコツは、明るさを「分散」させることです。リビングのような広い空間を、明るさが足りないからと天井の主照明を明るくすると、まぶしくなり逆効果です。



空間全体として必要な明るさを確保でき、ひとつひとつの器具のまぶしさも抑えられます。



主照明の他にフロアスタンドや卓上のライトなど補助照明や間接照明を組み合わせ、光を分散させることが大切です。



主照明は、昼白色、補助照明が電球色という組み合わせが過ごしやすい照明です。

